

(19) 心臓血管外科（川崎病院）（選択科目）

◎ 心臓血管外科研修カリキュラム責任者：尾本 正 心臓血管外科部長

A. 研修目標

心臓血管外科は、外科の中の専門分野に属する。一般外科、消化器外科、末梢血管外科などの知識、基礎的技術を土台として成り立っている。よって、初期臨床研修の段階における心臓血管外科選択の意義その1は、心臓血管外科医を志す考えの少しでもある者が、将来における診療科選択決定の材料として当科の手術、患者管理、治療方針などに早い段階で接しておくことにあると考える。その2は、循環器内科、一般内科など、他科を志す考えのある者が、心臓、胸部大血管などを手術中、実際に見ておくことにあると考える。内科系の医師にとっても、心臓血管外科の実際を知ることは、将来において貴重な経験になると考える。選択理由の如何によらず、見学者、下働きではなく、個々の資質に応じた、積極的な研修を目標としたい。

1 一般目標

心臓血管外科手術を受けることが、患者、家族にとって、どの程度大きな出来事であるかを理解し、心臓血管外科の基礎を知る。

2 行動目標及び経験目標

I 心臓血管外科患者の手術適応を知る。

II 心臓血管外科手術の観点から、術前検査、術後検査の結果を評価できる。

III 心臓血管外科における救急患者の診療方法を知る：

急性大動脈解離、胸部大動脈瘤破裂の診断と初期治療

緊急手術時における対処法の理解

IV 心臓血管外科に関する抗凝固法の理解

V 清潔操作の重要性を理解

IV 心臓血管外科の基本的手術手技

1) 開胸、閉胸操作

2) ペースメーカー手術の基礎

3) 鎖骨下静脈穿刺

4) 人工心肺の基礎を理解

B. 研修計画

具体的研修方法

期間は短期でも可。手術、病棟内での処置、患者診察、救急外来での診察などを指導医とともに行う。可能な限り、積極的に行ってもらおう。

カンファレンス日程

循環器科との合同カンファレンス：木曜夕方

手術症例カンファレンス：金曜午後（心臓血管外科医師、麻酔科医師、臨床工学技士、手術室看護師、ICU 看護師）

C. 指導体制（責任者）

益田 智章 医長

D. 評価

- 1) 研修医は、経験目標に従って、自己の研修内容を研修医手帳に記録し、退院サマリーを記載し、指導医に提出しフィードバックを受ける。
- 2) 研修終了時に、当院研修医評価票に基づいて評価を行う。

E. その他

当院は心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設基幹施設に認定されている。心臓及び胸部大血管手術数、年間 70 例程度。ペースメーカー手術数、年間 40 例程度。安全性を重視し、無理のない手術を心がけている。緊急症例も含め、問い合わせのあった症例はできるだけ対処している。